

海岸よろず相談所だより

(第36～46号)

国土交通省宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所 発行

海岸よろず相談所だより

号	発行日	主な内容
第 36 号	平成 24 年 7 月 23 日	◇海岸巡視中に石崎浜でアカウミガメの産卵に遭遇しました！ ◇色彩豊かな宮崎海岸の植物たち ◇投棄ゴミがあちこちに・・・ ◇侵食対策の取り組み状況
第 37 号	平成 24 年 8 月 22 日	◇「第 11 回宮崎海岸侵食対策検討委員会」及び「第 1 回効果検証分科会」の開催報告 ◇住吉海岸のサンドバック現地実験の状況 ◇「第 8 回石崎浜ビーチクリーン」の御案内
第 38 号	平成 24 年 9 月 21 日	◇突堤建設工事のお知らせ ◇大炊田海岸、住吉海岸の侵食状況とその対応 ◇住吉・大宮・檳振興会で出前講座を行いました！
第 39 号	平成 24 年 10 月 19 日	◇「第 19 回 宮崎海岸市民談義所」の結果報告 ◇「第 8 回 石崎浜ビーチクリーン」の結果報告
第 40 号	平成 24 年 11 月 21 日	◇突堤建設工事へのご協力をお願い ◇宮崎海岸の状況確認について ～職員による海岸巡視を行っています～
第 41 号	平成 24 年 12 月 21 日	◇「第 20 回宮崎海岸市民談義所」の開催予定 ◇出前講座に行ってきました～住吉南小学校～ ◇今年最後の「石崎浜ビーチクリーン」を実施しました
第 42 号	平成 25 年 2 月 22 日	◇「第 20 回宮崎海岸市民談義所」を開催しました！ ◇住吉地区振興会による突堤現地視察
第 43 号	平成 25 年 3 月 22 日	◇突堤建設箇所には立ち入らないでください。 ◇第 10 回石崎浜ビーチクリーンを開催します！ ◇大炊田地区で事業報告を行いました。
第 44 号	平成 25 年 6 月 21 日	◇第 10 回石崎浜ビーチクリーンに約 500 名参加 ◇「宮崎海岸侵食対策検討委員会」の委員委嘱
第 45 号	平成 25 年 8 月 21 日	◇「第 21 回宮崎海岸市民談義所」の結果報告 ◇「第 11 回石崎浜ビーチクリーン」に約 300 名が参加
第 46 号	平成 25 年 9 月 13 日	◇「宮崎海岸侵食対策検討委員会分科会」の結果報告 ◇「県民総ぐるみ教育フェスティバル」で環境学習のご提案 ◇「住吉・大宮・檳振興会連絡協議会」で事業報告

海岸よろず相談所だより

平成24年7月23日

第36号

国土交通省
宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所発行

H24. 6. 29 大炊田海岸にて撮影



素早い動きのスナガニ

記事

- ◇ 海岸巡視中に石崎浜でアカウミガメの産卵に遭遇しました!
- ◇ 色彩豊かな宮崎海岸の植物たち
- ◇ 投棄ゴミがあちこちに...
- ◇ 侵食対策の取り組み状況

海岸巡視中に石崎浜でアカウミガメの産卵に遭遇しました!

宮崎海岸出張所では、砂浜等の状況を把握するために、出張所職員による海岸巡視を週1回及び高波浪が予想される前後に行っています。

先日の海岸巡視時には、石崎浜でアカウミガメの産卵に遭遇するという貴重な体験をしましたのでお伝えします。

宮崎海岸の侵食対策は、アカウミガメの産卵場所である砂浜を守るなどの環境面にも配慮して実施しておりますので、今後ともご理解・ご協力をお願いします。

位置図(石崎浜)



石崎浜では、海岸清掃「石崎浜ビーチクリーン」が定期的に行われています。

産卵場所を求め、移動中



ゴミが少なくて移動しやすいな～

穴掘り開始!



後ろ足をスプーンのように丸めて、左右交互に穴を掘ります。

産卵中



卵は、ピンポン玉くらいの大きさ。水分が多く、さわるとへこむほどのやわらかさです。

今後は、今回産卵した卵からふ化した仔ガメが海へ帰っていきますが、その時に砂浜にあるゴミが障害物となることから、「第8回石崎浜ビーチクリーン」が8月～9月頃開催される予定です。

(開催日時決定後、本誌及びホームページにてお知らせします。)

仔ガメ達もよろしくをお願いします。

※なお、上記の写真や動画は、海岸よろず相談所で閲覧できます。

また、今後は宮崎河川国道事務所ホームページに掲載する予定です。



色彩豊かな宮崎海岸の植物たち

近頃、宮崎海岸を徒歩で巡視していると、ハマゴウやゲンバイヒルガオが花を開き、見ごろを迎えているのが確認できます。みなさん是非、青い海・青い空と花々が織りなす色彩豊かな海岸へ足を運んで、観賞してみませんか?

ハマゴウ



ゲンバイヒルガオ※
(宮崎県レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類)



残念なことに、車が踏み荒らし、枯れているものがありました。



※葉っぱのかたちが、相撲で行司が使う軍配(ぐんばい)に似ているのが名前の由来。

裏面へつづく



投棄ゴミがあちこちに・・・

たくさんの自然の営みを楽しめる宮崎海岸ですが、その一方で、たくさんの投棄ゴミも確認されています。

特に、位置図●に示す車両の乗り入れが出来る範囲で、多く見受けられます。

(下記に、海岸巡視で確認した投棄ゴミの一例を示します。)



●の地点で見つかったゴミ（一例）



投棄されたゴミは、宮崎海岸の自然環境に悪影響を及ぼします。

投棄場所をみなさんに注視いただくことで、不法投棄がしにくくなるなど、ゴミの減少につながればと考えております。

侵食対策の取り組み状況

昨年12月の宮崎海岸侵食対策検討委員会における「宮崎海岸の侵食対策」の了承を受け、国土交通省宮崎河川国道事務所では、本年10月頃には南への流出土砂を減らすための「突堤」の工事に着手するなど、今後本格的な工事を行う段階に入ります。

そこで、7月22日(日)午前「第11回宮崎海岸侵食対策検討委員会」を開催し、侵食対策の効果・影響についての検証体制を構築しました。また、午後からは「第1回効果検証分科会」を開催し、『「宮崎海岸の侵食対策」の効果検証のための調査実施計画』を策定しました。

次号では、その内容を報告する予定ですので、是非、御覧ください。

また、当日の資料等については、後日、宮崎河川国道事務所ホームページに掲載する予定です。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

〔国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所〕

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

〔旧 宮崎地方方法務局 佐土原出張所〕

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>





青空だと海的美しさも格別

記事

- ◇ 「第11回宮崎海岸侵食対策検討委員会」及び「第1回効果検証分科会」の開催報告
- ◇ 住吉海岸のサンドバック現地実験の状況
- ◇ 「第8回石崎浜ビーチクリーン」の御案内

「第11回宮崎海岸侵食対策検討委員会」及び「第1回効果検証分科会」の開催報告

国土交通省と宮崎県は、海岸工学や自然環境の専門家、地元や海岸利用の有識者からなる「宮崎海岸侵食対策検討委員会」（以下、「委員会」）を開催しています。

本誌第36号でお知らせしましたとおり、7月22日（日）午前第11回委員会を、同日午後第1回効果検証分科会を開催しました。

第11回委員会では、「宮崎海岸の侵食対策」が「対策の検討、計画」から「対策の実施、効果・影響の確認」の段階に入ったことを受け、養浜、突堤、埋設護岸という一連の侵食対策をできるだけ円滑かつ手戻りなく実施していくために、対策の効果・影響を確認する役割を担う「効果検証分科会」を設置しました。

委員会に引き続き開催された第1回効果検証分科会では、効果検証の手順を検討するとともに、「『宮崎海岸の侵食対策』の効果検証のための調査実施計画」（以下、「調査実施計画」）を策定しました。今後は、調査実施計画に基づいた調査を実施し、その結果を分析・評価することにより、「宮崎海岸の侵食対策」の効果・影響を確認していくこととなります。

本年10月頃には突堤工事に着手する予定です。皆様の御協力をお願いします。なお、工事区域等の詳細は次号でお知らせします。

<調査実施計画に基づいた調査の一例>

海象・漂砂調査

（目的）

- ・ 設計条件、波の打ち上げ高および漂砂の外力条件となる波浪・潮位の把握。
- ・ 漂砂の方向、範囲等の把握。
- ・ 養浜砂を移動させる波浪・流況の把握。

海底に設置した海象計で観測



測量

（目的）

- ・ 土砂移動の実態や陸上及び海底地形の変化の把握。
- ・ 養浜砂の移動実態、養浜盛土の変形の把握。

汀線付近の地形測量

～ 土砂量及び汀線位置の変化を把握 ～



環境・利用調査

（目的）

- ・ 海岸域における動植物の種や分布状況及びそれらが生息・生育する場の特性を把握。
- ・ 養浜による環境変化の把握。
- ・ 海岸における利用形態、分布等の把握。

汀線付近の生物採取状況



船上での底質採取状況



※委員会等の資料は宮崎河川国道事務所ホームページに掲載しているほか、海岸よろず相談所でも閲覧することができます。（裏面参照）





海岸よろず相談所だより

平成24年9月21日

第38号

国土交通省
宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所発行

H24.9.12 大炊田海岸にて撮影



職員による海岸巡視を毎週行っています。
お気軽にお声かけください。

記事

- ◇ 突堤建設工事のお知らせ
- ◇ 大炊田海岸、住吉海岸の侵食状況とその対応
- ◇ 住吉・大宮・憶振興会で出前講座を行いました！

突堤建設工事のお知らせ

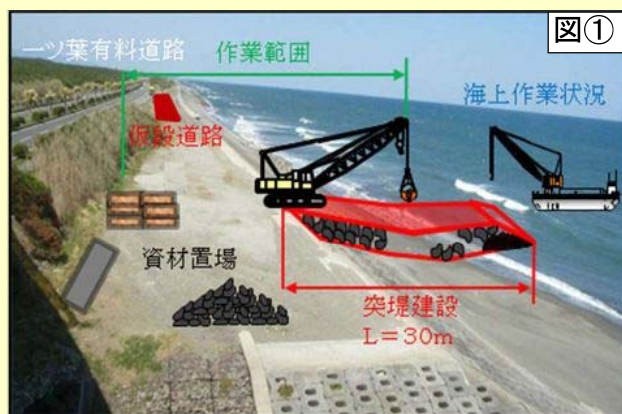
「宮崎海岸の侵食対策」の1つである「南への流出土砂を減らす」ことを目的として、突堤の建設工事を開始します。平成24年9月下旬から仮設道路等の工事に着手した後、順次、突堤の建設工事を進めます。今年度の工事期間は、平成25年2月20日（水）までの予定です。

工事期間中は、主にクレーン車等の重建設機械による作業が中心となります。（図①参照）

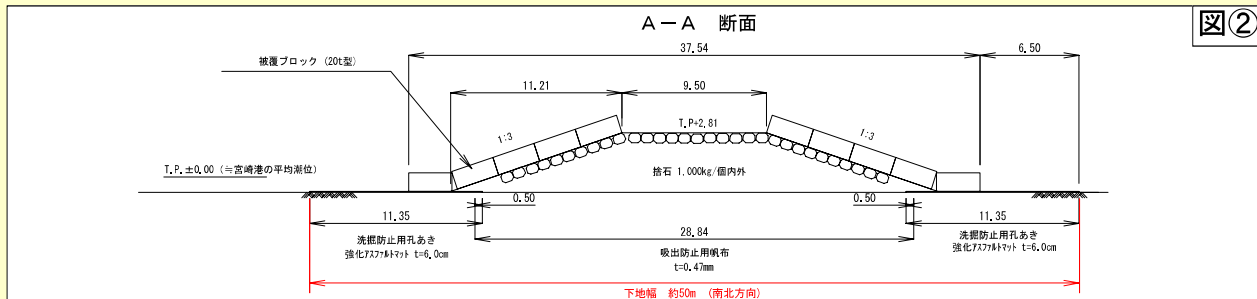
また、南北の沿岸方向も、下地を含めると50m程度の幅を要する工事となります。（図②参照）

そのため、海岸を利用される皆様との接触による事故防止に努めることを目的として、工事施工範囲と海岸利用が可能な範囲の分離します。（図③参照）

安全作業に努めますので御協力のほどよろしくお願い致します。なお、工事に関するお問合せは、宮崎海岸出張所までご連絡ください。（連絡先は裏面に記載しています。）



図①



図②



図③

【凡 例】

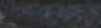
- : 工事施工範囲
※分離期間中は当該区間を通れなくなります。
- : 杭とロープによる陸上区域分離
※平成24年9月20日から平成25年2月20日まで、仮設道路及び突堤建設の期間設置します。
- : ブイとロープによる海上区域分離
※平成24年10月15日から平成25年2月20日まで、突堤建設の期間設置します。

裏面へつづく



両海岸ともに、昨年度末までに砂丘の前面で養浜（一部区間では袋詰玉石も設置）を実施しました。また、大炊田海岸においては、6月の台風3号、4号に対する緊急的な補強工事（本誌第35号参照）を実施し、砂丘の崩落の抑制・軽減を図ってきましたが、8月の台風15号、9月の台風16号等の高波浪により、養浜がほぼ流出して砂丘の崩落が発生している区間が現れています。

工事は、早ければ9月下旬から着手する予定です。本誌でも随時お知らせしますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



A group of people, mostly men, are seated on the floor in a traditional Japanese room, participating in a meeting or lecture. Two men stand at the front near a screen with Japanese text.

至 高鍋

海岸よろず相談所
【宮崎海岸出張所】
【旧 宮崎地方事務局 佐土原出張所】

佐土原町交番

佐土原中央体育館

佐土原支所前
交番点

ナフコ

おうめこうじ

Aコーポ

佐土原駅

佐土原町
総合文化センター

亀の井ホテル

10

200m

至 宮崎市街

記事

- ◇ 「第19回 宮崎海岸市民談義所」の結果報告
- ◇ 「第8回 石崎浜ビーチクリーン」の結果報告

ふ化した仔ガメの足跡が、海まで続いていました。

「第19回 宮崎海岸市民談義所」の結果報告

国土交通省と宮崎県は、宮崎海岸侵食対策について、市民がお互いに納得できる手段等の事業の方向性を見いだす場として「宮崎海岸市民談義所」（以下、「談義所」）を開催しています。

9月27日（木）に開催した第19回談義所の主な議題は、以下の3点でした。

- ①「前回談義所以降の現地の状況」及び「養浜工事等の予定」について
- ②「宮崎海岸侵食対策における景観評価のポイント」について
- ③「突堤建設工事の内容」について

議題①では、6月から9月までに接近した台風による住吉海岸・大炊田海岸の状況変化を報告するとともに、今後の養浜工事等の予定を説明しました。

市民からは、「動物園東では昨年度の養浜砂が流出しており、危険な状態になっている」「大炊田海岸も危険な状態であるが、対応策をどのように考えているか」「養浜は、どの程度の効果が出ているのか」などの意見がありました。

議題②では、「宮崎海岸侵食対策における景観評価のポイント」と題して、宮崎海岸侵食対策検討委員会委員の柴田委員より効果検証に向けた新たな観点についての説明を行っていただきました。

議題③では、事務局より上記議題②の景観面からの新たな視点を踏まえた突堤建設工事の内容及び今年度の予定についての説明を行いました。

市民からは、「突堤工事に関連して、国だけでなく県や市、市民も一緒になって、海岸利用に関連した道路等の周辺整備に向けた計画ができないだろうか」「柴田先生の「人のいる風景が良い風景である」という説明を受けて、今回の突堤も立入禁止にならないような計画にしてもらえると良いと思う」などの意見がありました。



約70名が参加



柴田委員より景観評価の説明



突堤に使用するブロックの表面（洗い出し加工）のイメージを提示



意見を述べる参加者

次回の談義所では突堤建設工事の現地見学を予定しています。実際に工事現場をご覧になりながら談義できればと考えていますので、是非ご参加ください。

開催日時決定後、本誌及びホームページ等でお知らせします。

※談義所の議事概要は、後日、宮崎河川国道事務所ホームページに掲載予定です。

当日の配付資料や「宮崎海岸の侵食対策」に関する資料等についても、閲覧できます。

「第8回 石崎浜ビーチクリーン」の結果報告

石崎浜の利用マナー向上のために活動している『宮崎の海岸をみんなで美しくする会（以下、「美しくする会」）』主催の「第8回 石崎浜ビーチクリーン」が9月22日（土）に開催されました。9月期のビーチクリーンは、アカウミガメのふ化期を迎えたことに伴い、仔ガメが海へ帰る時に障害物となるゴミを取り除くことを目的として例年実施しているものです。

今回の参加人数は、前回から50名増となる約170名で、地元住民・海岸利用者・ボランティア団体・企業など、海岸と多様な関わりをもつ人々にご参加いただいております。

今回は、空き缶・ペットボトル等の漂着ゴミと併せて、台風の影響により打ち上げられた大量の流木も収集しました。

大人数での人海戦術の結果、1時間半ほどの作業で大量のゴミ・流木が収集されました。

ゴミ・流木収集の様子



海岸清掃の成果



約100袋も
ゴミが集まったよ！

流木の山が
たくさんできました。



カメも人も喜ぶ
綺麗な砂浜に
なりました。



車のわだちで発見された仔ガメ



収集作業終盤には、砂浜に乗り入れた車のわだちに落ちて海に帰れなくなっている仔ガメが発見されました。

思いもよらない出会いに参加者からは「仔ガメに会えてうれしい」という喜びや驚きの声がありましたが、一方で「やっぱり車のわだちは仔ガメにとって良くない」等の海岸利用のマナーの悪さに対する声もあり、美しくする会としても「利用マナーの向上により一層努めよう」と再認識しました。

発見された仔ガメは、参加者が見守るなか、無事、海へ帰っていきました。

参加された皆様のご協力により綺麗になった石崎浜で、この日出会った仔ガメと数年後に再会できるように、引き続き、海岸利用のマナー向上と海岸環境の保護にご理解・ご協力をよろしくお願いします。

なお、次回のビーチクリーンは、12月8日（土）8時からの開催を予定していますので、是非ご参加ください。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方事務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。



海岸よろず相談所だより

平成24年11月21日
第40号
国土交通省
宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所発行

H24. 11. 7 住吉海岸にて撮影



日光浴するミュビシギ

記事

- ◇ 突堤建設工事へのご協力をお願い
- ◇ 宮崎海岸の状況確認について
～職員による海岸巡視を行っています～

突堤建設工事へのご協力をお願い

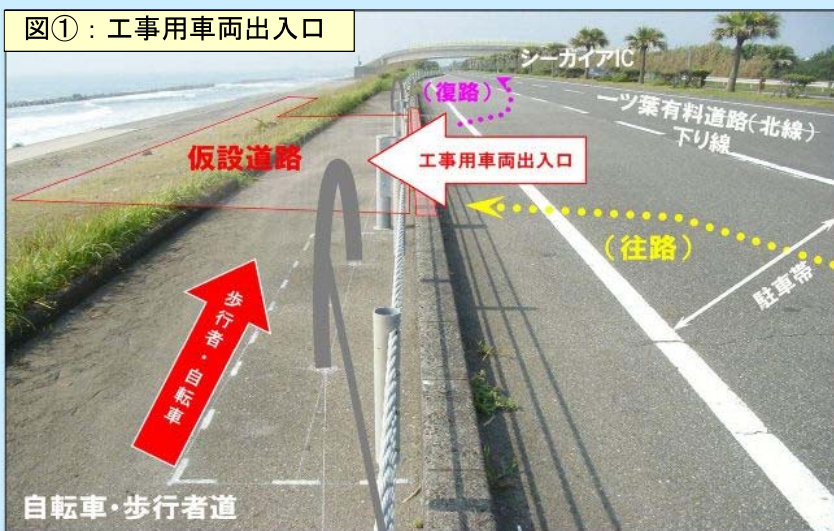
現在、シーガイアIC東側の海岸において、「宮崎海岸の侵食対策」の1つである「南へ流出する土砂を減らす」ことを目的とした突堤の建設工事を行っています。

突堤建設予定地周辺では、本格的な作業が始まっています。
皆様にはご迷惑をお掛けしますが、安全作業に努めますので、以下の事項にご注意いただくと共にご協力のほどよろしくお願いします。

- ① 一ツ葉有料道路（北線）下り車線の駐車帯（シーガイアIC北側）が工事用車両の出入口となります。（「図①」参照。）
工事用の進入路と自転車・歩行者道が交錯しますので工事期間中は交通誘導員を配備し利用者を優先し、安全に努めます。
また、工事用車両が駐車帯に進入する際に減速しますので、後続車は追突防止のため十分な車間距離を確保いただき、前方にご注意ください。



図①：工事用車両出入口



- ② 大型のコンクリートブロックを宮崎港内にあるブロック製作場所より突堤建設地にトレーラーにより運搬します。
安全のため、出来るだけ一般道を避けた経路を使用するとともに要所に交通誘導員を配備し安全通行に努めます。（「図②」参照。一ツ葉有料道路を使用）
なお、Uターン箇所となる住吉ICでは特に利用者を優先し、安全に努めます。

図②：トレーラー通行経路（ブロック運搬）



上記の事項及び突堤建設工事に関するお問い合わせは、宮崎海岸出張所までご連絡ください。（連絡先は裏面に記載しています。）

宮崎海岸の状況確認について

宮崎海岸出張所では、宮崎海岸（宮崎港から一ツ瀬川の間にある砂浜海岸約7km）の地形の変化、動植物の生息状況、海岸の利用形態等について、自らの目で確認し把握することを目的に徒歩による海岸巡視を毎週1回の頻度で行っています。

巡視に際しては、各地点で確認された変化状況の記録を行ったり、砂浜の状況を写真で記録し経年的な変化を把握したりしています。

これまでの巡視で、砂浜の状況は台風等の高波による流出だけでなく、季節毎に流出と堆積を繰り返していることなどが確認されています。

住吉海岸（4k000：フェニックスカントリークラブ東側）の状況（情報の一例です。）

H24. 5. 17 撮影



5月は堤防前面に砂浜がありました。

H24. 9. 26 撮影



9月には砂が流出し、消波ブロックが露頭しました。

H24. 11. 14 撮影



11月になると砂浜が堆積傾向にあります。

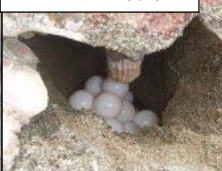
また、巡視中には貴重な動植物と遭遇することができ、宮崎海岸が「全国でも有数のアカウミガメの産卵地であり、貴重な植物も生息する自然豊かな砂浜であること」が再確認できました。

H24. 5. 30 撮影



アカウミガメ
（環境省レッドリスト：絶滅危惧ⅠB類）

H24. 6. 20 撮影



保護団体へ情報提供



出張所職員

H24. 9. 12 撮影



ゲンバイヒルガオ
（宮崎県レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類）

今後も引き続き巡視を行うことで、小さな変化を見逃すことなく海岸侵食対策に資する情報の収集に努めると共に、突堤建設による新たな効果・影響などを注視していきます。

巡視中の職員を見かけましたら海岸に関するお気づきの点など、お気軽に声をお掛けください。

【次号予告】「第9回 石崎浜ビーチクリーン」の結果報告

「第9回 石崎浜ビーチクリーン」を12月8日（土）8時から開催します。
次号では、その内容を報告する予定ですので、是非、ご覧ください。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方支庁 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。



海岸よろず相談所だより

平成24年12月21日
第41号
国土交通省
宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所発行

H24. 12. 8 石崎浜にて撮影



朝日でオレンジ色に染まる海

記事

- ◇ 「第20回 宮崎海岸市民談義所」の開催予定
- ◇ 出前講座に行ってきました ～住吉南小学校～
- ◇ 今年最後の「石崎浜ビーチクリーン」を実施しました

「第20回 宮崎海岸市民談義所」の開催予定

「第20回 宮崎海岸市民談義所」は、2月9日（土）に開催を予定しています。

今回は、突堤建設工事で据え付けた被覆ブロックの設置状況を見学できるように、現地での開催を予定しています。実物の突堤を見学しながら、被覆ブロックの景観面の談義を行いますので、是非ご参加ください。

開催時間・集合場所など詳細については、決定後、ホームページ等でお知らせします。



突堤建設工事 (H24. 12. 11現在)

出前講座に行ってきました ～住吉南小学校～

12月6日（木）に住吉南小学校で出前講座を行いました。

今回の出前講座は、「ウミガメの生態やそれを取り巻く環境について」をテーマに、5年生の環境に関する学習の一環として開催されました。

宮崎海岸出張所からは、「海岸侵食の状況と砂浜の必要性」について、楽しみながら学んでもらえるよう、今年撮影したアカウミガメの産卵状況の動画や昔の砂浜の写真を使って説明するとともに、「宮崎海岸の侵食対策（養浜、突堤、埋設護岸）」を紹介しました。

また、アカウミガメの保護活動に長年取り組まれている中島義人さん（宮崎海岸侵食対策検討委員会委員）に、「アカウミガメの生態」や「保護のために必要なこと、自分たちにできること」などをお話いただきました。



「宮崎海岸の侵食対策」を紹介

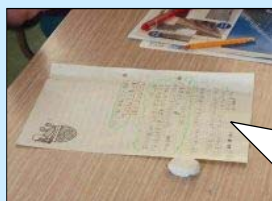


海岸清掃で砂浜をきれいにすることも保護につながると話す中島さん

子供たちからのウミガメの減少に関する質問に対し、中島さんは「卵を産みやすい広い砂浜になったとしても、ゴミがいっぱいだと卵を産まずに帰ってしまいます。ゴミを掃除して卵を産みやすい砂浜にすることが、みんなにもできる保護活動です。」と答えました。

休み時間になっても、興味津々に海岸やウミガメの質問を続けている子供たちを見てみると、今回の出前講座がとても有意義なものであったように実感できました。

今後も小学校や地域づくり協議会への出前講座の機会を設けたいと考えていますので、ご要望がありましたら宮崎海岸出張所までお気軽にご連絡ください。



子供たちが一生懸命に書き留めていたメモには、「アカウミガメは意外とぼく達の住んでいる近くにいます。」「砂浜が無くなってきている。」「広い砂浜は必要不可欠。」などがあり、地元の子供たちに宮崎海岸の現状を知ってもらえる良い機会となりました。

今年最後の「石崎浜ビーチクリーン」を実施しました

石崎浜の利用マナー向上のために活動している『宮崎の海岸をみんなで美しくする会（以下、「美しくする会」）』の主催で、台風等による高波浪で砂浜に大量に打ち上げられた空き缶・ペットボトル等の漂着ゴミや流木などを収集することを目的に「第9回 石崎浜ビーチクリーン」が12月8日（土）に開催されました。

当日は厳しい冷え込みの中での実施にもかかわらず、地元住民・海岸利用者・ボランティア団体・企業など、約150名の多数のご参加をいただきました。

清掃に先立ち、美しくする会から、石崎浜で撮影された今年のウミガメの上陸・産卵の様子についての紹介や、アカウミガメの保護がビーチクリーンの目的の一つであるという説明などが行われ、参加された方々も興味津々に聞き入っていました。

ゴミ・流木収集の様子



1 kmを超える広い範囲の砂浜ですが、大人数でゴミを収集。



偶然、野球部の練習に訪れた高校生も飛び入りで参加してくれました。



アカウミガメの質問をする子供。この子たちの未来に、美しい砂浜を。

海岸清掃の成果



燃やせないゴミ

燃やせるゴミ

粗大ゴミ
(掃除機・布団など)



流木・木くず

1時間半ほどの作業で約70袋におよぶゴミや流木などが収集され、なかには不法投棄と思われる粗大ゴミも多数見受けられました。

ゴミの量は前回よりも減少はしましたが、悪質な不法投棄は一向になくなる様子はなく、今後も「不法投棄をしない環境づくり」の意識高揚が図れるように、美しくする会は来年以降もビーチクリーンを行っています。

今後も引き続き、海岸利用のマナー向上と海岸環境の保護にご理解・ご協力をよろしくお願いします。

海岸清掃後の石崎浜



来年もたくさんのアカウミガメが産卵してくれることを願っています。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL: 0985-62-7050/FAX: 0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方支庁 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。



海岸よろず相談所だより

平成25年2月22日
第42号
国土交通省
宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所発行

H25. 2. 13 住吉海岸にて撮影

記事

- ◇ 「第20回 宮崎海岸市民談義所」を開催しました！
- ◇ 住吉地区振興会による突堤現地視察



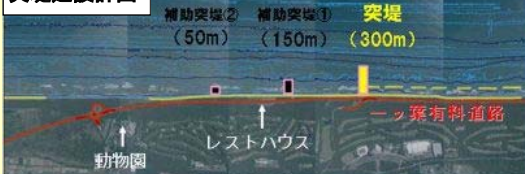
サーフィンで賑わっています。

「第20回 宮崎海岸市民談義所」を開催しました！

国土交通省と宮崎県は、専門家の助言を受けながら宮崎海岸侵食対策に取り組む中で、市民同士が談義を通じてお互いに納得できる手段等の事業の方向性を見いだす場として「宮崎海岸市民談義所」（以下、「談義所」）を開催しています。

第20回談義所は、「宮崎海岸の侵食対策」の1つとして昨年10月より着手した突堤の表面に使用するブロック等の景観面の検討を主な議題として、2月9日（土）に現地見学会と室内談義の2部構成で開催しました。

突堤建設計画



突堤は「南へ流出する土砂を減らす」ことを目的に3基建設することを計画しています。

今年度は一番南側に建設する300mの突堤のうち陸側30mを施工しています。

突堤現地見学

現地ではブロック表面の質感や大きさを間近で感じてもらい、現在の宮崎海岸の風景との調和を確認してもらいました。

市民からは、「今回の突堤30mの建設によって砂浜への効果は現れているのか」「工事によって海の水質や生態系に悪影響を与えないように考えて欲しい」などの意見がありました。

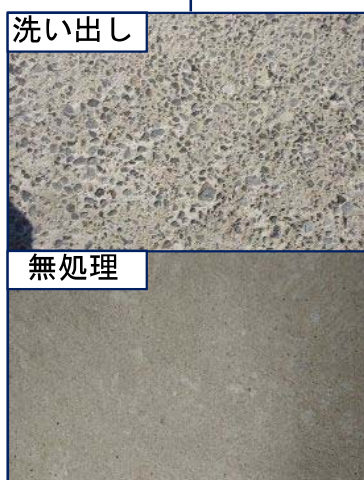


突堤全景(南側)



既設護岸

ブロック表面は風化により、粗骨材(小石)が浮き上がっており、全体的に黒っぽく明暗・濃淡があります。



突堤

ブロック表面の洗い出しを行い、粗骨材(小石)を露出させることで、既設護岸ブロック表面の色彩・質感にできるだけ近づけています。

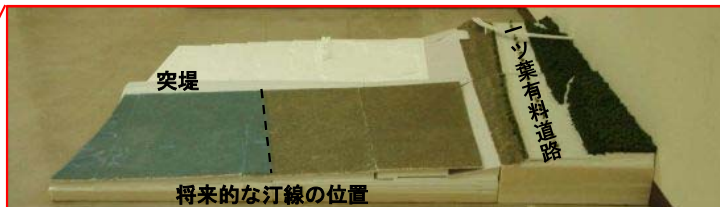
「第20回 宮崎海岸市民談義所」を開催しました！

室内談義

談義に先立ち、宮崎海岸侵食対策検討委員会の柴田委員（景観の専門家）より、宮崎海岸侵食対策における景観の保全の必要性や宮崎海岸らしい景観との調和について、2種類の模型を使いながら説明がありました。



柴田委員による説明の様子



模型①：突堤ができることにより、砂浜の回復を含めた景観がどのように変化するかを表しているもの。



模型②：
ブロックの種類・大きさを変えて、現在の風景との調和を比較検討するもの。

談義を通して事業主体である国は、景観、技術面などから、突堤の基部には10t型のブロックを使用するという方向性を決定し、今後、委員会に諮り詳細を決定していくこととしました。

最後に、国から宮崎海岸侵食対策事業の今後の予定として、関係機関と連携した養浜や本突堤の延伸、大炊田海岸への埋設護岸の設置を行っていくことについて、報告しました。

なお、参加者からは景観以外にも環境、安全性、利用に関する多様な意見が出されましたので、今後の検討の参考とします。

※談義所の議事概要は、後日、宮崎河川国道事務所ホームページに掲載予定です。

当日の配付資料や「宮崎海岸の侵食対策」に関する資料等についても、閲覧できます。

住吉地区振興会による突堤現地視察

2月15日（金）、住吉地区振興会が地域の現状把握を目的として、突堤を現地視察しました。

当日は、松下国土交通大臣政務官も現地視察を行っており、同振興会から政務官へ砂浜回復実現への要望を直に伝える場面もあり、侵食対策事業に対する地域の方々の期待を感じることができました。

今後も小学校や地域づくり協議会への出前講座や現地見学会の機会を設けたいと考えていますので、ご要望がありましたら宮崎海岸出張所までお気軽にご連絡ください。



政務官も地元の生の声に聞き入っていました。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方事務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。



海岸よろず相談所だより

平成25年3月22日
第43号
国土交通省
宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所発行

H25.3.6 大炊田海岸にて撮影



生きているワスレガイを見つけました。

記事

- ◇ 突堤建設箇所には立ち入らないでください。
- ◇ 第10回 石崎浜ビーチクリーンを開催します！
- ◇ 大炊田地区で事業報告を行いました。

突堤建設箇所には立ち入らないでください。

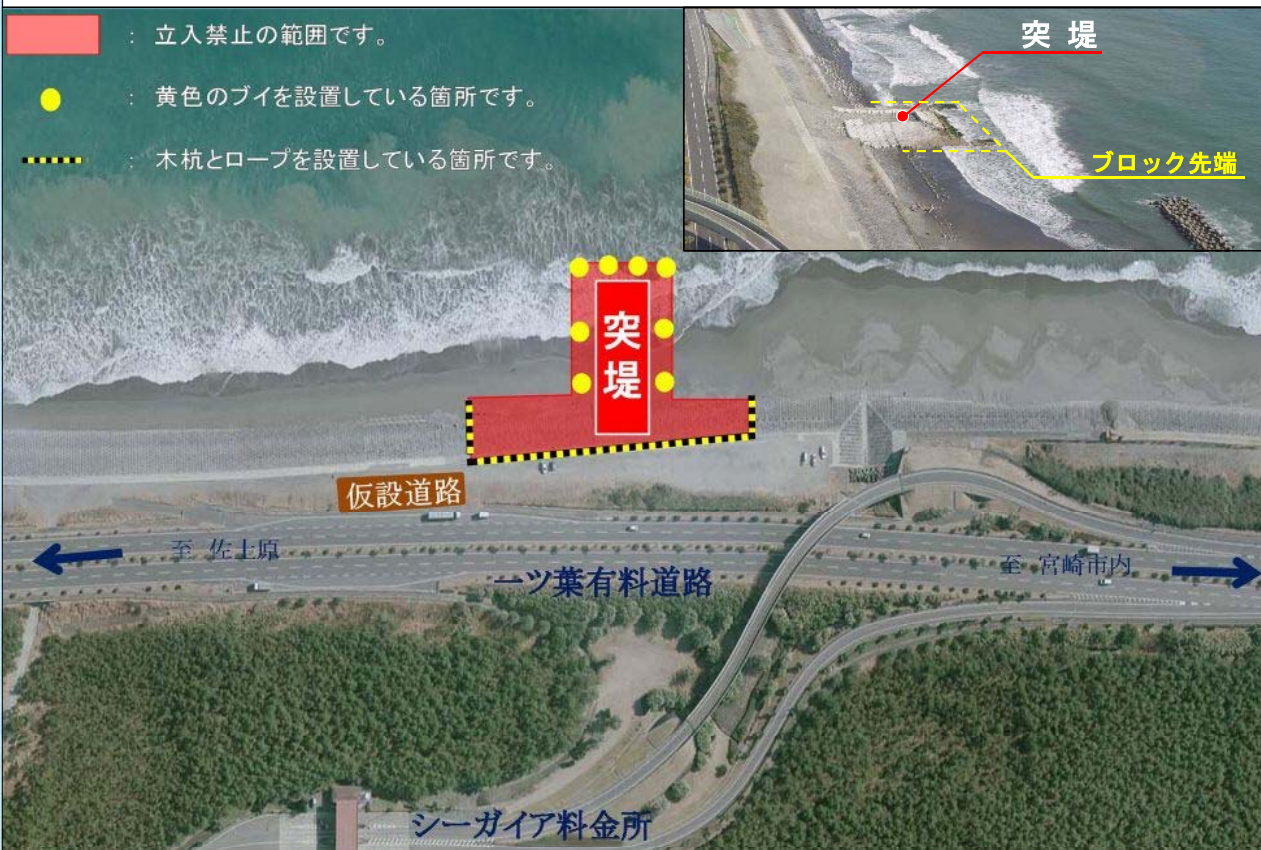
「宮崎海岸の侵食対策」の1つである突堤については、平成24年度分の施工が完了したところですが、現地の突堤には以下のような危険があります。

- 突堤には隙間があり、こどもや小動物が落ちて出られなくなったり、足が挟まれて身動きがとれなくなったりする恐れがあること。
- 石やブロックが動いて、体を挟まれたり、下敷きになったりすると大けがにつながる恐れがあること。

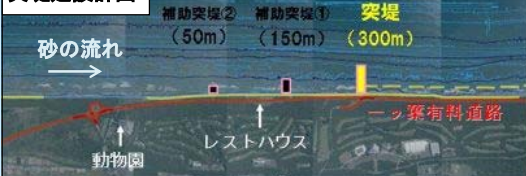
このため、ロープで囲んだ範囲には絶対に入らないでください。
沖側のブロックは、波で見えなくなっていますので、沖でレジャーを楽しまれる方もご注意ください。

ご意見・ご質問などありましたら、宮崎海岸出張所までご連絡ください。
(連絡先は裏面に記載しています。)

立入禁止範囲



突堤建設計画



突堤は「南へ流出する土砂を減らす」ことを目的に3基建設することを計画しています。

平成24年度は一番南側に建設する300mの突堤のうち陸側30mを施工しました。

裏面へつづく

第10回 石崎浜ビーチクリーンを開催します！

『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』では、アカウミガメをはじめとした稀少な動植物が生息する宮崎の海岸において、環境に配慮した海岸利用方法の検討や、海岸利用者のマナー向上のための活動を行っています。

例年、アカウミガメの産卵期を迎える時期には、上陸・産卵するときに障害物となるゴミや流木を撤去するため、石崎浜で海岸清掃を行っています。

清掃とあわせて、アカウミガメにまつわる話をしたり、仔ガメの標本などを展示したりしますので、みなさんの参加をお待ちしています。

開催日時：5月25日（土）8：00～9：30

●集合場所：石崎浜

●駐 車 場：石崎の杜 歓鯨館（旧石崎浜荘）の北側スペース

●必要な物：軍手、タオル、帽子、飲み物等は、各自で準備願います。

また、雨天の場合は、雨具をご用意ください。

（小雨決行。強雨、高波浪等の荒天時は、中止します。）

※詳細については、ホームページ掲載のチラシをご覧ください、

宮崎海岸出張所までご連絡ください。



前回（12月8日）の様子



参加者が200名を超えました！

みなさんの協力により綺麗になった砂浜で、
去年はたくさんの卵を産むことができました。
今年もご協力よろしくお願いします。



大炊田地区で事業報告を行いました。

3月10日（日）に行われた大炊田自治会の総会で、事業報告を行いました。

平成24年度の高波浪による大炊田海岸の侵食状況や養浜工事の結果とともに、平成25年度には埋設護岸を設置する予定であることを報告しました。

地元住民の方々は、報告を聞きながら熱心に資料を確認されていました。



約180世帯の方々が参加しました。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方事務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。



海岸よろず相談所だより

平成25年6月21日

第44号

国土交通省
宮崎河川国道事務所
宮崎海岸出張所発行

H25.6.5 大炊田海岸にて撮影



おとなしく写真を撮らせてくれたスナガニ

記事

- ◇第10回 石崎浜ビーチクリーンに約500名参加
- ◇「宮崎海岸侵食対策検討委員会」の委員委嘱

第10回 石崎浜ビーチクリーンに約500名参加

『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』（以下、『美しくする会』）では、アカウミガメをはじめとした希少な動植物が生息する宮崎の海岸において、環境に配慮した海岸利用方法の検討や、海岸利用者のマナー向上のための活動を行っています。

例年、アカウミガメの産卵期を迎える時期には、上陸・産卵のときに障害となるゴミや流木を撤去するため、石崎浜で海岸清掃を行っており、今年は5月25日（土）に開催しました。

事前のチラシ設置やポスター掲示いただいた方々のご協力もあり、当日は前回をはるかに上回る約500名ものご参加をいただいております、これも地元の皆様の海岸に対する想いの結果だと感じています。

参加者並びに関係者の皆様へ、この場を借りて感謝申し上げます。

今回は初の試みとして、海岸のことをもっと知ってもらえるように、パネルや仔ガメの標本などを展示しました。

展示物を通じて、たくさんの方々に、海岸のゴミは海から漂着したものより持ち込んだと思われるものが多いこと、そのゴミが母ガメが産卵するときや仔ガメが海へ帰るときに悪影響を及ぼしていることを知ってもらうことができ、『美しくする会』の活動目的の一つである「海岸利用者のマナー向上」への理解を得られたのではないかと実感しています。

さらに、子どもたちには、昔の砂浜は運動会ができるくらい広がったことや砂浜には希少な動植物が生息していること、そして、その砂浜が侵食されていることを知ってもらう良い機会となりました。

清掃開始前の様子



ビーチクリーンの趣旨とあわせて、海岸侵食の状況も知ってもらいました。



タイヤのあとに落ちて死んだ仔ガメの標本。車の乗り入れも環境に悪影響を及ぼします。



石崎浜での産卵の様子を撮影した動画。身近な自然の営みを知ってもらいました。

ゴミ・流木収集の様子



参加者の協力で、約1kmもの砂浜がみるみる綺麗になっていきます。

海岸清掃の成果



燃やせないゴミ

燃やせるゴミ

持ち込んだと思われる粗大ゴミ
(テレビ・布団・網戸・蛍光灯など)



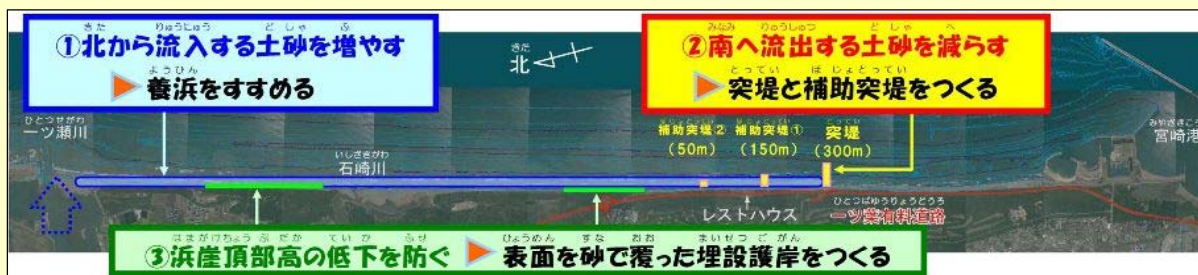
流木・木くず

清掃の結果、約100袋ものゴミや大量の流木が収集されました。障害物が減った綺麗な砂浜で、今後もアカウミガメがたくさん産卵してくれることを願っています。

次回は、アカウミガメのふ化期を迎える**8月10日（土）**に開催しますので、引き続き、みなさまのご参加・ご協力をよろしくお願い致します。

「宮崎海岸侵食対策検討委員会」の委員委嘱

一ツ瀬川から宮崎港までの海岸では、年々砂浜が減少しています。
国土交通省と宮崎県は、砂浜を回復・維持するため、侵食対策を行っているところです。



海岸の侵食対策を行うためには、防護面、環境面や利用面、砂の供給源である河川や山などの海岸周辺も含めた多角的な視点から考えていく必要があります。

このため、行政機関だけでなく、学識経験者・地域住民代表者・海岸利用者等から幅広く意見を収集し、宮崎海岸の侵食の原因と将来的な傾向、さらには今後の対策等について議論を深めるべく、「宮崎海岸侵食対策検討委員会」を設置しています。

平成25年度は、以下の方々に「宮崎海岸侵食対策検討委員会」の委員及びオブザーバーの委嘱を行っています。(50音順、敬称略)

【委員】

<学識経験者等>

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 神田 猛 (宮崎大学) | 佐藤 慎司 (東京大学大学院) |
| 柴田 久 (福岡大学) | 須田 有輔 (水産大学校) |
| 諏訪 義雄 (国土技術政策総合研究所) | 堤 裕昭 (熊本県立大学) |
| 中村 豊 (希少野生動植物種保存推進員) | 西 隆一郎 (鹿児島大学) |
| 松田 博貴 (熊本大学大学院) | 村上 啓介 (宮崎大学) |

<地元関係者>

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 仁田脇 義弘 (檳地区自治会連合会長) | 根井 翼 (佐土原地区自治会連合会長) |
| 矢野 實 (住吉地区自治会連合会長) | |

<利用関係者>

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 上村 貴志 (NPO法人宮崎県サーフィン連盟委員) | |
| 川添 新一 (一ツ瀬漁業協同組合長) | 河野 正 (檳漁業協同組合長) |
| 志磨村 上 (宮崎漁業協同組合長) | 溝口 吉治 (川南町漁業協同組合長) |

<行政関係者>

- | | |
|---------------------|---------------|
| 【国土交通省】 宮崎河川国道事務所長 | 宮崎港湾・空港整備事務所長 |
| 【宮 崎 県】 環境森林部自然環境課長 | 農政水産部漁村振興課長 |
| 県土整備部河川課長 | 県土整備部港湾課長 |

【宮 崎 市】 建設部長

【オブザーバー】 市民連携コーディネータ ※

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 高尾 忠志 (九州大学) | 高田 知紀 (神戸市立工業高等専門学校) |
| 吉武 哲信 (九州工業大学大学院) | |

※市民連携コーディネータとは、市民からの多様な意見を取りまとめ、事業主体に伝える。また、事業主体が専門家に正確に伝えているか、専門家がきちんと検討しているか中立・公正な立場からチェックするものです。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL: 0985-62-7050/FAX: 0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方事務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報 (宮崎海岸Publication)

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。





仔ガメを見送る子供たち

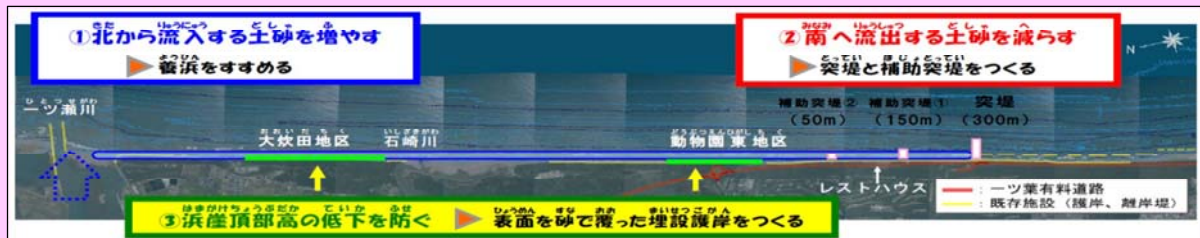
記事

- ◇「第21回 宮崎海岸市民談義所」の結果報告
- ◇「第11回 石崎浜ビーチクリーン」に約300名が参加

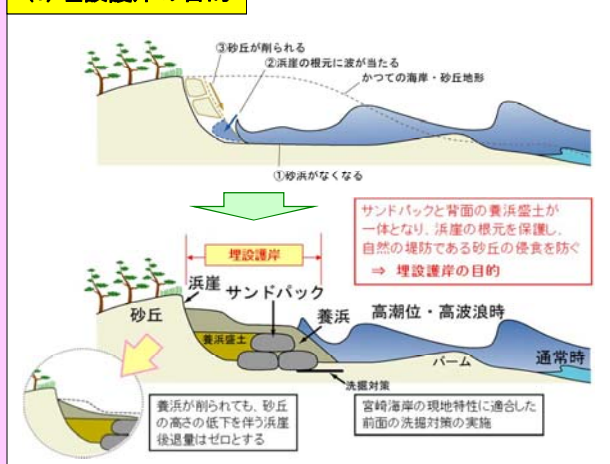
「第21回 宮崎海岸市民談義所」の結果報告

国土交通省と宮崎県は、専門家の助言を受けながら宮崎海岸侵食対策に取り組む中で、市民同士が談義を通じてお互いに納得できる手段等の事業の方向性を見いだす場として「宮崎海岸市民談義所」（以下、「談義所」）を開催しています。

第21回談義所は、「宮崎海岸の侵食対策」の1つとして、大炊田地区と動物園東地区で10月の着手を目指している埋設護岸（下図③を参照。）にサンドバック工法を採用することを主な議題として、7月29日（月）に開催しました。



(1) 埋設護岸の目的



(2) 埋設護岸の整備イメージ（大炊田地区）



談義に先立ち、国から埋設護岸の目的や整備イメージなどの説明を行いました。（左図(1)・(2)を参照。）

その中で、サンドバック工法は、動物園東地区において現地実験（平成24年2月～平成25年2月）を実施し、耐久性・安定性・安全性などの性能が確認されたこと、また、設置にあたっては、環境、景観、利用への配慮を検討していることを報告しました。

参加者からは「設置位置を砂丘側に下げられないか」「安全・安心のため早く対策を行って欲しい」「埋設護岸の効果は、どのように検証されるのか」など、多様な意見が出されました。

今回の意見を踏まえ、今後、埋設護岸の構造・設置位置や効果検証の方法等について、詳細を決定していきます。



※談義所の議事概要は、宮崎河川国道事務所ホームページに掲載しています。

当日の配付資料や「宮崎海岸の侵食対策」に関する資料についても、閲覧できます。

※次号では、8月12日（月）に開催した「第8回技術分科会」「第2回効果検証分科会」の結果を報告する予定ですので、是非、御覧ください。

「第11回 石崎浜ビーチクリーン」に約300名が参加

『宮崎の海岸をみんなで美しくする会』（以下、『美しくする会』）では、アカウミガメをはじめとした希少な動植物が生息する宮崎の海岸において、環境に配慮した海岸利用方法の検討や、海岸利用者のマナー向上のための活動を行っています。

例年、アカウミガメのふ化期を迎える時期には、仔ガメが海へ帰るときに障害となるゴミや流木を撤去するため、石崎浜で海岸清掃を行っており、今年は8月10日（土）に開催しました。

夏休み中の開催となったため、たくさんの子どもたちが参加してくれたこともあり、参加人数は300名を超えました。

今回は、石崎浜でアカウミガメの保護活動を行っている『美しくする会』会員の小豆野 次則 氏より、アカウミガメの生態やそれを取り巻く環境などの話を行い、清掃で砂浜をきれいにすることも保護に繋がることを知ってもらいました。

また、前回に引き続き、「海岸利用者のマナー向上」や「身近な環境学習」のため、パネルや仔ガメの標本なども展示しました。

このような活動を通じ、「不法投棄をしない環境づくり」の意識高揚を行ってきた成果の一つとして、今回は粗大ゴミなどの悪質な不法投棄は見当たりませんでした。

この状況が当たり前となるように、『美しくする会』は今後も活動を行っていきます。

綺麗になった砂浜からたくさんの仔ガメが海へ帰っていくことを願うとともに、おとなになったアカウミガメが石崎浜に戻ってきてくれるように、みんなで砂浜を守っていきましょう。

次回のビーチクリーンは、12月頃の開催を予定していますので、引き続き、みなさまのご参加・ご協力をよろしくお願いします。

清掃開始前の様子



アカウミガメの話は、子どもだけでなく大人も熱心に聞き入っていました。

海岸のことをもっと知ってもらえるように、次回もいろんな物を展示します。

ゴミ・流木収集の様子



海岸清掃の成果



1 kmにおよぶ砂浜から約50袋のゴミや大量の流木が収集されました。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方事務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。





侵食で被害を受けたアカウミガメの卵

記事

- ◇「宮崎海岸侵食対策検討委員会 分科会」の結果報告
- ◇「県民総ぐるみ教育フェスティバル」で環境学習のご提案
- ◇「住吉・大宮・檳振興会連絡協議会」で事業報告

「宮崎海岸侵食対策検討委員会 分科会」の結果報告

国土交通省と宮崎県は、宮崎海岸の侵食対策を行うにあたって、学識経験者・地域住民代表者・海岸利用者等から幅広く意見を収集して議論を深めるために「宮崎海岸侵食対策検討委員会」（以下、「委員会」）を設置しています。

その中で、侵食対策に関する技術的な事項については「技術分科会」で、侵食対策による効果・影響については「効果検証分科会」で、それぞれ検討を行っています。

8月12日（月）に開催した両分科会の検討結果については、以下のとおりです。

「第8回 技術分科会」

宮崎海岸の侵食対策の1つで、砂丘の侵食を防ぐことを目的とした埋設護岸について、工法の選定や構造（設置する高さや位置など）の検討を行いました。

各種工法の比較検討を行った結果、宮崎海岸保全の基本方針における「新たに設置するコンクリート構造物は出来るだけ減らす」などの配慮事項に合致し、また、宮崎海岸での現地実験により耐久性・安定性・安全性などの性能が確認されたことも踏まえて、サンドバック工法が適切な工法であることが了承されました。



「第2回 効果検証分科会」

宮崎海岸の侵食対策は「検討、計画」の段階から「実施、効果・影響の確認」の段階へ移行しています。これに伴い、国土交通省で作成した侵食対策の効果・影響の評価手法等について、議論を行いました。

効果・影響の評価は、3つの侵食対策（「養浜」、「突堤」、「埋設護岸」）と対策検討に使用した波浪・潮位などの設定条件が適切かどうかの区分で行うこととしました。

この手法に基づき、平成24年度までの調査結果を用いた年次評価（案）が了承されました。

分科会の様子



一般の方も傍聴されていました。

両分科会の検討結果が委員会では了承されれば、埋設護岸については大炊田地区で10月に工事に着手することとなり、効果検証については今年度から本格的に運用を開始することとなります。

なお、埋設護岸の工事期間中は、皆様にご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

※分科会の議事概要は、宮崎河川国道事務所ホームページに掲載しています。

当日の配付資料や「宮崎海岸の侵食対策」に関する資料についても、閲覧できます。

※次号では、「第12回 宮崎海岸侵食対策検討委員会（9月18日（水）開催予定）」
「第22回 宮崎海岸市民談義所（10月2日（水）開催予定）」の結果を報告する予定ですので、是非、御覧ください。

「県民総ぐるみ教育フェスティバル」で環境学習のご提案

「県民総ぐるみ教育フェスティバル」は、学校関係者や教育関係団体と、教育のための取り組みを行っている企業などが一堂に会し、相互交流を通じて地域全体の教育力を向上させることを目的として、8月21日（水）に宮崎県教育委員会主催で開催されました。

会場には、企業などが具体的な教育支援方法を紹介するための展示ブースが設置されており、このブースに宮崎海岸出張所も出展し、環境に関する学習の一環として、学校の授業などに出前講座を利用してもらえるように、参加者に説明を行いました。

宮崎海岸出張所の展示ブース

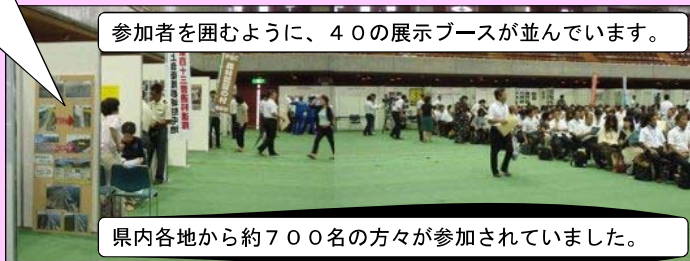


侵食対策の一環として行っている、環境への配慮や利用者のマナー向上を目的とした取り組みについて、事例を紹介しました。

昔と今の砂浜の写真を比較できるように展示し、侵食の状況を説明しました。

約20年という長期間で砂浜がなくなってしまった海岸、1回の台風や高波により短期間で砂丘が十数メートルも後退してしまった海岸を紹介し、侵食の規模や速さを知ってもらいました。

参加者を囲むように、40の展示ブースが並んでいます。



県内各地から約700名の方々が参加されていました。

宮崎海岸出張所の出前講座（環境学習）を通じて、次世代の宮崎県を担う子供たちに「身近に自然豊かな砂浜が存在すること」、「その砂浜がなくなってきていること」を知ってもらい、海岸侵食対策事業や身近な環境問題へ目を向けるきっかけになればと考えています。

対象の学年に応じて講座内容も柔軟に調整致しますので、ご要望などがありましたら、宮崎海岸出張所までお気軽にご連絡ください。

「住吉・大宮・憶振興会連絡協議会」で事業報告

8月23日（木）に開催された住吉・大宮・憶振興会連絡協議会総会で、海岸侵食対策について、昨年度までの実施状況と今年度実施予定の工事などの概要を説明しました。

同振興会役員の方々（約50名）は、海岸侵食対策事業パンフレットを確認しながら、熱心に報告を聞かれました。



説明に使用したパンフレットは、宮崎海岸出張所でも配布しています。

海岸に関するご相談やご意見・ご質問などありましたら

○海岸よろず相談所○

【国土交通省 宮崎河川国道事務所 宮崎海岸出張所】

にご連絡下さい。

TEL：0985-62-7050/FAX：0985-62-7051

〒880-0211 宮崎県 宮崎市 佐土原町 下田島 9515-6

【旧 宮崎地方事務局 佐土原出張所】

※宮崎河川国道事務所ホームページ

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

※海岸情報（宮崎海岸Publication）

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/html/kasen/sskondan/index.html>

↑前号までの「海岸よろず相談所だより」は、こちらから御覧いただけます。

